



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月24日

上場会社名 日立化成株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4217 URL <http://www.hitachi-chem.co.jp>
 代表者 (役職名) 執行役社長 (氏名) 田中 一行
 問合せ先責任者 (役職名) CSR統括部 コーポレート コミュニケーションセンタ長 (氏名) 加藤 淳 (TEL) 03-5533-7146
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	119,199	1.0	7,503	10.6	8,499	25.3	8,158	63.3
25年3月期第1四半期	117,981	△0.1	6,782	△26.7	6,785	△31.4	4,997	△8.1

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 12,054百万円(—) 25年3月期第1四半期 849百万円(△80.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	39.17	—
25年3月期第1四半期	24.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	486,506	316,456	63.7
25年3月期	477,880	313,404	64.2

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 309,879百万円 25年3月期 306,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	18.00	38.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 25年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 18円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	240,000	2.5	13,500	0.7	14,500	7.5	11,500	27.8	55.22
通期	500,000	7.6	31,000	31.6	32,000	17.0	22,500	19.6	108.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】P. 4「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期1Q	208,364,913株	25年3月期	208,364,913株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	118,529株	25年3月期	117,316株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期1Q	208,246,942株	25年3月期1Q	208,248,769株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(四半期連結損益計算書)	P. 7
(四半期連結包括利益計算書)	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9
[補足資料]	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2013年4月1日から同年6月30日までの連結業績につきましては、産業用電池・システムの売上減等により先端部品・システムセグメントの売上は前年同期実績を下回りましたが、半導体用エポキシ封止材や半導体用ダイボンディング材料の新規採用増により機能材料セグメントの売上は前年同期実績を上回りました。この結果、売上高は1,191億99百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は75億3百万円(前年同期比10.6%増)、経常利益は84億99百万円(前年同期比25.3%増)となりました。また、四半期純利益は、福島第一原子力発電所の事故による操業停止期間の逸失利益に対する東京電力(株)からの補償金を特別利益に計上したこともあり、81億58百万円(前年同期比63.3%増)となりました。

セグメント別の事業の状況は以下のとおりです(各セグメントの売上高は、セグメント間内部売上高消去後の数値を記載)。

機能材料セグメント

当セグメントの売上高は前年同期実績の3.9%増に当たる655億10百万円となりました。

①電子材料

半導体用エポキシ封止材は、2012年10月1日付で日東電工(株)から同製品の事業を譲り受けたこと及び新規採用の増加により、前年同期実績を上回りました。

半導体用ダイボンディング材料は、スマートフォン、タブレットPC向けの新規採用増により、前年同期実績を上回りました。

半導体回路平坦化用研磨材料は、一部顧客における需要減の影響により、前年同期実績を下回りました。

電気絶縁用ワニスは、国内の自動車生産台数が減少した影響を受けたものの、為替の影響等により、前年同期実績を上回りました。

②無機材料

リチウムイオン電池用カーボン負極材は、スマートフォン、タブレットPC向けの売上拡大により、前年同期実績を上回りました。

カーボン製品は、鉄道車両用ブラシの売上が減少した一方で、新興国向け自動車用ブラシの売上が増加したことにより、前年同期実績並みとなりました。

③樹脂材料

機能性樹脂は、塗料用樹脂が国内の自動車生産台数が減少した影響を受け、前年同期実績を下回りました。

粘着フィルムは、液晶ディスプレイの光学シート表面保護用の需要減により、前年同期実績を下回りました。

ディスプレイ用回路接続フィルムは、スマートフォン向けの売上拡大により、前年同期実績を上回りました。

タッチパネル周辺材料は、一部顧客の需要減により、前年同期実績を下回りました。

④配線板材料

銅張積層板は、パソコン向けの需要が減少したことにより、前年同期実績を下回りました。

感光性フィルムは、スマートフォン、タブレットPC向けの売上拡大により、前年同期実績を上回りました。

先端部品・システムセグメント

当セグメントの売上高は前年同期実績の2.2%減に当たる536億89百万円となりました。

①自動車部品

樹脂成形品は、一部顧客の需要減により、前年同期実績を下回りました。

摩擦材は、タイでの需要増により、前年同期実績を上回りました。

粉末冶金製品は、北米での需要増により、前年同期実績を上回りました。

②蓄電デバイス・システム

車両用電池は、タイの製造拠点が本格稼働を開始したことにより、前年同期実績を上回りました。
産業用電池・システムは、通信事業者向けの電源装置の売上が減少したことにより、前年同期実績を下回りました。

キャパシタは、風力・太陽光発電向けの売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

③電子部品

配線板は、半導体検査装置関連の需要回復等により、前年同期実績を上回りました。

④その他

診断薬・装置は、アレルギー診断薬の売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

(2)財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から86億26百万円増加し4,865億6百万円となりました。主に有形固定資産が増加し、固定資産が52億38百万円増加したことによるものです。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末から55億74百万円増加し1,700億50百万円となりました。主に会計方針の変更により退職給付に係る負債が増加し、固定負債が67億54百万円増加したことによるものです。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末から30億52百万円増加し3,164億56百万円となりました。主に利益剰余金が増加し、株主資本が34億67百万円増加したことによるものです。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期(累計)及び通期の業績予想につきましては、当第1四半期において為替差益を計上したこと等に加え、福島第一原子力発電所の事故による操業停止期間の逸失利益に対する東京電力(株)からの補償金を特別利益に計上したことにより、経常利益及び当期純利益は、前回発表の業績予想を上回る見込みです。

〔第2四半期(累計)〕

	今回予想(A)	前回予想(B)	増減額(A-B)	増減率
売上高	2,400億円	2,400億円	—	—
営業利益	135億円	135億円	—	—
経常利益	145億円	135億円	10億円	7.4%
当期純利益	115億円	80億円	35億円	43.8%

〔通期〕

	今回予想(A)	前回予想(B)	増減額(A-B)	増減率
売上高	5,000億円	5,000億円	—	—
営業利益	310億円	310億円	—	—
経常利益	320億円	310億円	10億円	3.2%
当期純利益	225億円	190億円	35億円	18.4%

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（退職給付に係る会計処理方法の変更）

当社及び連結子会社は、「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下、「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。）が平成25年4月1日以後開始する連結会計年度の期首から適用できることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間よりこれらの会計基準等を適用しております。これにより、退職給付債務から年金資産の額を控除した額を退職給付に係る負債として計上する方法に変更し、未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用を退職給付に係る負債に計上しております。また、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。なお、退職給付会計基準第37項に定める経過的な扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務から年金資産の額を控除した額を退職給付に係る負債として計上したことに伴う影響額を退職給付に係る調整累計額に、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金にそれぞれ加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る調整累計額が4,410百万円減少し、利益剰余金が941百万円減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2013年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,955	39,771
受取手形及び売掛金	105,134	104,926
有価証券	499	—
製品	20,163	21,858
仕掛品	12,006	13,880
原材料	15,090	15,927
関係会社預け金	37,317	29,188
その他	25,368	30,378
貸倒引当金	△791	△799
流動資産合計	251,741	255,129
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	50,116	55,991
機械装置及び運搬具(純額)	56,020	63,751
土地	20,165	21,823
その他(純額)	35,719	25,630
有形固定資産合計	162,020	167,195
無形固定資産		
のれん	24,398	23,520
その他	6,080	6,047
無形固定資産合計	30,478	29,567
投資その他の資産		
投資有価証券	15,259	16,193
その他	19,208	19,231
貸倒引当金	△826	△809
投資その他の資産合計	33,641	34,615
固定資産合計	226,139	231,377
資産合計	477,880	486,506

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2013年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,612	50,054
短期借入金	20,387	21,633
未払法人税等	7,778	4,665
その他	36,813	36,058
流動負債合計	113,590	112,410
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	8,053	7,577
退職給付引当金	17,111	—
役員退職慰労引当金	510	467
退職給付に係る負債	—	22,013
その他	5,212	7,583
固定負債合計	50,886	57,640
負債合計	164,476	170,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,454	15,454
資本剰余金	36,113	36,113
利益剰余金	259,230	262,699
自己株式	△193	△195
株主資本合計	310,604	314,071
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,077	1,177
繰延ヘッジ損益	68	100
為替換算調整勘定	△4,770	△1,075
退職給付に係る調整累計額	—	△4,394
その他の包括利益累計額合計	△3,625	△4,192
少数株主持分	6,425	6,577
純資産合計	313,404	316,456
負債純資産合計	477,880	486,506

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2013年4月1日 至2013年6月30日)
売上高	117,981	119,199
売上原価	90,271	89,452
売上総利益	27,710	29,747
販売費及び一般管理費	20,928	22,244
営業利益	6,782	7,503
営業外収益		
受取利息	92	90
受取配当金	131	146
受取ロイヤリティー	591	642
持分法による投資利益	483	514
為替差益	—	183
その他	812	685
営業外収益合計	2,109	2,260
営業外費用		
支払利息	232	346
固定資産処分損	153	250
為替差損	938	—
その他	783	668
営業外費用合計	2,106	1,264
経常利益	6,785	8,499
特別利益		
受取補償金	1,899	2,995
特別利益合計	1,899	2,995
特別損失	—	—
税金等調整前四半期純利益	8,684	11,494
法人税等	3,505	3,216
少数株主損益調整前四半期純利益	5,179	8,278
少数株主利益	182	120
四半期純利益	4,997	8,158

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2013年4月1日 至2013年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,179	8,278
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△367	100
繰延ヘッジ損益	△293	32
為替換算調整勘定	△3,740	3,314
退職給付に係る調整額	—	16
持分法適用会社に対する持分相当額	70	314
その他の包括利益合計	△4,330	3,776
四半期包括利益	849	12,054
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	906	12,001
少数株主に係る四半期包括利益	△57	53

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項なし

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項なし

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自2012年4月1日至2012年6月30日)

(単位:百万円)

科 目	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機能材料	先端部品・ システム	計		
売 上 高					
(1) 外 部 顧 客 へ の 売 上 高	63,078	54,903	117,981	—	117,981
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,947	306	2,253	(2,253)	—
計	65,025	55,209	120,234	(2,253)	117,981
セグメント利益	5,987	799	6,786	(4)	6,782

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2013年4月1日至2013年6月30日)

(単位:百万円)

科 目	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機能材料	先端部品・ システム	計		
売 上 高					
(1) 外 部 顧 客 へ の 売 上 高	65,510	53,689	119,199	—	119,199
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,496	486	2,982	(2,982)	—
計	68,006	54,175	122,181	(2,982)	119,199
セグメント利益	6,779	766	7,545	(42)	7,503

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

〔補足資料〕

各セグメントの主要製品

セグメント	主要製品
機能材料	<p>電子材料 半導体用エポキシ封止材、半導体用ダイボンディング材料、半導体回路平坦化用研磨材料、電気絶縁用ワニス</p> <p>無機材料 リチウムイオン電池用カーボン負極材、カーボン製品</p> <p>樹脂材料 機能性樹脂、粘着フィルム、ディスプレイ用回路接続フィルム、タッチパネル周辺材料</p> <p>配線板材料 銅張積層板、感光性フィルム</p>
先端部品・システム	<p>自動車部品 樹脂成形品、摩擦材、粉末冶金製品</p> <p>蓄電デバイス・システム 車両用電池、産業用電池・システム、キャパシタ</p> <p>電子部品 配線板</p> <p>その他 診断薬・装置</p>